

令和 6 年度

授業シラバス・
年間指導計画

英語
(3 年)

令和6年度 岡山県立倉敷天城高等学校 普通科・理数科3年 シラバス

教科名	科目名（校内名称）	単位数	教科
英語	英語コミュニケーションⅢ （L英コミュ）	3	教科書：LANIIMARK Communication English Ⅲ[啓林館] 副教科：Ain High Vol.1（英成社）

学習のねらい	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、5つの領域（聞くこと・読むこと・話すこと（やり取り）・話すこと（発表）・書くこと）において言語活動及びこれらと結び付けた総合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を養う。 (1) 外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付ける。外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解できるようにする。（知識・技能） (2) 場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを確固たる確に理解したり適切に伝え合ったりできるようにする。（思考力・判断力・表現力） (3) 外国語の背景にある文化に対して理解を深め、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりしようとしている。（主体性）
--------	--

授業形態 アドバイス など	レコ・スの授業です。3年次の英語コミュニケーションⅢの授業は、1・2年次で学習した内容を発展させたものになります。1・2年次で学習した内容で理解できていないところがあると英語コミュニケーションⅢではわからないところが増えてしまいます。復習も必ず必要です。音楽をしっかりしましょう。また、提出物は期限を守ってください。そのためには、計画的な取り組みが必要です。
---------------------	--

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の基本的な考え方	外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解している。	場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり、適切に伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対して理解を深め、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを聞いたり、読んだり、話したり書いたりしようとしている。
学習の成果（習得・能力）との関連	教科力：幅広い教養と課題発見・解決のための知識・技能	思考力：論理的に考え、批判的に振り返り、創造する力 表現力：思考・判断の結果や経緯をわかりやすく伝える力	協働力：多様な他者とコミュニケーションをとり協力する力 自覚力：自らの行動を振り返り改善し前に踏み出す力
主な評価方法	○定期考査 ○課題考査 ○小テスト ○授業・発表内容の観察 ○提出課題の点検	○定期考査 ○課題考査 ○小テスト ○授業・発表内容の観察 ○提出課題の点検	○授業・発表態度の観察 ○プレゼンテーションの観察 ○提出課題の点検

学期	学習内容	学習の到達目標		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
通期	L.M.L 3 Saving Our Treasures from the Sea	・世界遺産ベニスとヴェネチアを築く科学技術について概要や詳細を理解する。	・近年の非常に強い雨が降る暮らしをする中で何が出来るか、読んだことを基に、話したり書いたりして表現することが出来る。	・未来の世代にどのような自然遺産を残したいかについて自分の考えを話して伝えることが出来るようにする。
	A.H.L9 肉の消費と環境問題	・肉の消費が環境を害する行動となり得ることを理解する。	・人間が地球環境に与える負荷について、読んだことを基に、話したり書いたりして表現することが出来る。	・人間が地球環境に与える負荷について自分の考えを話して伝えることが出来るようにする。
	L.M.L4 Men's Brains vs. Women's Brains	・「男女の脳の違いは本当にあるのか」について概要や詳細を理解する。	・ステレオタイプの要因やそれを克服する方法について、読んだことを基に、話したり書いたりして表現することが出来る。	・ステレオタイプの要因やそれを克服する方法について、自分の考えを話して伝えることが出来るようにする。
	A.H.L10 座り込み運動	・入植者が禁じる公民権法について概要や詳細を理解する。	・人種差別について読んだことを基に、話したり書いたりして表現することが出来る。	・座り込み運動について自分の考えを話して伝えることが出来るようにする。
	L.M.L5 Political Correctness	・差別や偏見のない中立的な用語の利点と問題点について概要や詳細を理解する。	・差別や偏見のない中立的な用語に関して、読んだことを基に、話したり書いたりして表現することが出来る。	・別や偏見のない中立的な用語に関して、自分の考えを話して伝えることが出来るようにする。
	A.H.L11 おもちゃの歴史	・千年前のおもちゃから現代のおもちゃへの変化について概要や詳細を理解する。	・現代のおもちゃに関して読んだことを基に、話したり書いたりして表現することが出来る。	・現代のおもちゃに関して自分の考えを話して伝えることが出来るようにする。
	L.M.L6 Jose Mujina : The World's Poorest President	・「世界一貧しい大統領」と呼ばれたホセ・ムジナについて概要や詳細を理解する。	・今日の日本人が暮せかについて、話したり書いたりして表現することが出来る。	・今日の日本が暮せかにして自分の考えを話して伝えることが出来るようにする。
	A.H.L12 ネアンデルタール人の骨	・ネアンデルタール人の骨から明らかになることについて概要や詳細を理解する。	・骨からわかる彼らの進化についてどう思うか、話したり書いたりして表現することが出来る。	・DNAの研究について自分の考えを話して伝えることが出来るようにする。
	L.M.L7 Where Did Dogs Come from?	・「オオカミがどのように進化して犬が生まれたのか」を解き明かす研究の概要や詳細を理解する。	・生き残るために適応したり、絶滅の危機に陥っている動物について、話したり書いたりして表現することが出来る。	・もしもペットになるなら、どのような動物や飼いかい方がいいか自分の考えを話して伝えることが出来るようにする。
	A.H.L13 科学者の信頼	・科学者による徹底的な検証により科学は誤謬であり続けることについて概要や詳細を理解する。	・現代の生活を支える科学について、話したり書いたりして表現することが出来る。	・現代の生活を支える科学について、自分の考えを話して伝えることが出来るようにする。
	L.M.L9 Extinction of Language	・文化や言語そのものである絶滅の危機について、概要や詳細を理解する。	・言語が絶滅の危機にある理由について、話したり書いたりして表現することが出来る。	・英語はツノ語と語に代わるべきかについて、自分の考えを話して伝えることが出来るようにする。

A.H.L14 宇宙飛行士	・現代の宇宙飛行士について概要や詳細を理解する。	・宇宙開発について、話したり書いたりして表現することができる。	・宇宙開発や NASA の取り組みについて、自分の考えを話して伝えることができるようにする。
L.M.L10 Light Pollution	・光害がもたらすさまざまな問題点について、概要や詳細を理解する。	・夜を守るためにできる行動について、話したり書いたりして表現することができる。	・明るい夜と暗い夜のどちらが好ましいか自分の考えを話して伝えることができるようにする。
A.H.L15 フューチャー・ライブラリー	・フューチャー・ライブラリーとは何か、その目的に何かについて概要や詳細を理解する。	・紙の本を未来に残す取り組みについて、話したり書いたりして表現することができる。	・紙の本を未来に残す取り組みについて、自分の考えを話して伝えることができるようにする。
A.H.L16 退屈	・退屈すると人は糖や脂肪の多い食べ物を求め、現代では不健康な食品傾向につながりうることにについて概要や詳細を理解する。	・現代の食について、話したり書いたりして表現することができる。	・現代の食について、自分の考えを話して伝えることができるようにする。
備考			

令和6年度 岡山県立倉敷天城高等学校 普通科・理数科3年 シラバス

教科名	科目名（校内名称）	単位数	教 材
英語	英語コミュニケーションⅢ （英コミュ）	3	教科書：LANDMARK Communication English Ⅲ（翰林館） 副教材：HED 現代文と英語の書き換え

学習のねらい	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、以下の5つの領域において言語活動及びこれらを通じて統合的な言語活動を通して、情報や考えなどの確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を養う。 ① 外国語の知識・技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付ける。外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解できるようにする。（知識・技能） ② 場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりできるようにする。（思考力・判断力・表現力） ③ 外国語の背景にある文化に対して理解を深め、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりしようとしている。（主体性）
--------	---

授業形態 アドバイス など	Rコースの授業です。2年次の英語コミュニケーションⅢの内容をさらに発展させたものです。徹底的に復習を促しましょう。予習・授業・復習という学習スタイルが入試を攻略する英語力につながります。すぐに辞書に頼らずに、入試まで、まずは、自らの力で英文を読む習慣をつけましょう。速読、パラグラフリーディングなど、多量の英文を早く正確に読み、要旨をつかむ練習をしていきましょう。
---------------------	---

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の基本的な考え方	外国語の知識・技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。外国語の学習を通して、言語の働きや役割なども理解している。	場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり、適切に伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対して理解を深め、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを聞いたり、読んだり、話したり書いたりしようとしている。
育てたい能力（資質・能力）との関連	知識力：幅広い教養と課題発見・解決のための知識・技能	思考力：論理的に考え、批判的に鑑み下げ、創造する力 表現力：思考・判断の結果や経過をわかりやすく伝える力	応用力：多様な他者とコミュニケーションをとり協力する力 省察力：自らの行動を振り返り改善し前に踏み出す力
主な評価方法	○定期考査 ○評価考査 ○小テスト ○授業・発表内容の観察 ○授業ノート・提出課題の点検	○定期考査 ○評価考査 ○小テスト ○授業・発表内容の観察 ○授業ノート・提出課題の点検	○授業・発表態度の観察 ○プレゼンテーションの観察 ○提出課題の点検

学期	学習内容	学習の到達目標		
		知識・技能	思考・判断 表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	L3 Saving Our Treasures From the Sea	水害対策が対照的な2つの世界遺産について書かれた文章を読んで、概要を把握することができる。	水害対策が対照的な2つの世界遺産について、読んだことを基に、話したり書いたりして表現することができる。	水害対策が対照的な2つの世界遺産について、自分の考えを述べて伝えることができるようにする。
	NEO Unit 9 Gender	子ども服の性差の変遷について必要な情報を問いたり、話んだりして、概要を把握することができる。	子ども服の性差の変遷について意見交換ができる。また、自分の意見を論理的に書いて伝えることができる。	子ども服の性差の変遷について、自分の考えを述べて伝えることができるようにする。
	L4 Men's Brain vs. Women's Brain	男女の違いを脳構造に帰する科学的根拠のない考えが広まった背景について書かれた文章を読んで、概要を把握することができる。	男女の違いを脳構造に帰する科学的根拠のない考えが広まった背景について、自分の意見を論理的に書いて伝えることができる。	男女の違いを脳構造に帰する科学的根拠のない考えが広まった背景について、自分の考えを述べて伝えることができるようにする。
	NEO Unit 10 Differences	異文化間の真意の伝え方に関する違いについて説明した文章を読んで、概要を把握することができる。	異文化間の真意の伝え方に関する違いについて説明した文章を読んで、情報や考えを論理的に伝え合うことができる。	異文化間の真意の伝え方に関する違いについて説明した文章を読んで、自分の考えを効果的に発表することができる。
	L5 Political Correctness	ポリティカル・コレクネスとその過度の広がりについて述べられた文章を読んで、内容を理解することができる。	ポリティカル・コレクネスとその過度の広がりについて述べられた文章を読んで、自分の意見を論理的に書いて伝えることができる。	ポリティカル・コレクネスとその過度の広がりについて、自分の考えを相対的に相手に伝えることができるようにする。
	NEO Unit Hope	地雷で足を失った少女の地雷使用拒否運動について、必要な情報を問いたり、話したりして、概要を把握することができる。	地雷で足を失った少女の地雷使用拒否運動について、自分の意見を論理的に書いて伝えることができる。	地雷で足を失った少女の地雷使用拒否運動について、自分の考えを述べて伝えることができるようにする。
	L6 Jose Mujica: The World's Poorest President	ホセ・ムジカの有名な演説と日本の大学生に向けたメッセージを読んで、内容を理解することができる。	ホセ・ムジカの有名な演説と日本の大学生に向けたメッセージについて、自分の意見を論理的に書いて伝えることができる。	ホセ・ムジカの有名な演説と日本の大学生に向けたメッセージを読んで、自分の考えを効果的に発表することができる。
後期	NEO Unit 2 Concrete	コンクリートの文化的・社会的価値と、広範な使用による環境問題について述べられた文章を読んで、内容を理解することができる。	コンクリートの文化的・社会的価値と、広範な使用による環境問題について、自分の意見を論理的に書いて伝えることができる。	コンクリートの文化的・社会的価値と、広範な使用による環境問題について説明した文章を読んで、自分の考えを効果的に発表することができる。

後期	L7 Where Did Dogs Come from?	「人間の最良の友」である犬が、野生のオオカミからどのように変化したかについて書かれた文章を読んで、概要を把握することができる。	「人間の最良の友」である犬が、野生のオオカミからどのように変化したかについて、読んだことを基に、話したり書いたりして表現することができる。	「人間の最良の友」である犬が、野生のオオカミからどのように変化したかについて、自分の考えを話して伝えることができるようにする。
	NEO Unit 13 Surveillance Cameras	「内形刑務所」のように常時監視によって秩序を保つことについて書かれた文章を読んで、概要を把握することができる。	「内形刑務所」のように常時監視によって秩序を保つことについて、読んだことを基に、話したり書いたりして表現することができる。	「内形刑務所」のように常時監視によって秩序を保つことについて、自分の考えを話して伝えることができるようにする。
	L8 The Story of My Life	ヘレン・ケラーが「愛」という言葉の意味を理解していく過程について書かれた文章を読んで、概要を把握することができる。	ヘレン・ケラーが「愛」という言葉の意味を理解していく過程について、読んだことを基に、話したり書いたりして表現することができる。	ヘレン・ケラーが「愛」という言葉の意味を理解していく過程について、自分の考えを話して伝えることができるようにする。
	NEO Unit 14 Business	天文学物理学者の提唱する最善の飛行機搭乗手順について書かれた文章を読んで、概要を把握することができる。	天文学物理学者の提唱する最善の飛行機搭乗手順について、読んだことを基に、話したり書いたりして表現することができる。	天文学物理学者の提唱する最善の飛行機搭乗手順について、自分の考えを話して伝えることができるようにする。
	L9 Extinction of Languages	少数言語の消滅危機とその保護について、必要な情報を聞いたり、読んだりして、概要を把握することができる。	少数言語の消滅危機とその保護について、自分の意見を論理的に書いて伝えることができる。	少数言語の消滅危機とその保護について説明した文章を読んで、自分の考えを効果的に発表することができる。
	NEO Unit 15 Mars	電磁シールドを利用した火星地球化計画案について、必要な情報を聞いたり、読んだりして、概要を把握することができる。	電磁シールドを利用した火星地球化計画案について、自分の意見を論理的に書いて伝えることができる。	電磁シールドを利用した火星地球化計画案について説明した文章を読んで、自分の考えを効果的に発表することができる。
	L10 Light Pollution	人工の光が自然界に与える「光害」について説明した文章を読んで、概要を把握することができる。	人工の光が自然界に与える「光害」について、自分の意見を論理的に書いて伝えることができる。	人工の光が自然界に与える「光害」について説明した文章を読んで、自分の考えを効果的に発表することができる。
備考	NEO Unit 16 Biology	軍事科学が証明しようとしているクジラの歌について説明した文章を読んで、概要を把握することができる。	軍事科学が証明しようとしているクジラの歌について、自分の意見を論理的に書いて伝えることができる。	軍事科学が証明しようとしているクジラの歌について説明した文章を読んで、自分の考えを効果的に発表することができる。

令和6年度 岡山県立倉敷天城高等学校 普通科・理数科3年 シラバス

教科名	科目名（校内名称）	単位数	教科
英語	論理・表現Ⅱ（論理・表現Ⅱ）	2	Revision Quest English Logic and Expression ent 英作文

学習の ねらい	「話すこと（やり取り）」「話すこと（発表）」「書くこと」を中心とした統合的な言語活動を通して、コミュニケーションを図るために必要な発信能力を育成するとともに、論理の構成や展開を考察することで、情報や考えなどを論理的に工夫しながら伝える能力を養う。 ①外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解し、外国語の音声・語彙・表現・文法の知識を身に付けている。 ②場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について、情報や考えなどの概要・詳細・意匠を外国語で的確に理解したり適切に表現したりしている。 ③外国語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。
------------	---

授業形態 アドバンス など	「論理・表現Ⅱ」での学習内容をさらに深め、様々な場面や状況設定において、論理の構成や展開を意識して自分の考えを述べたり、書いて伝えたりする機会を多く設けます。それらの活動に積極的に参加し、自分自身の考えや気持ちなどを表現することが大切です。徐々に多くの内容を述べたり、書いて伝えたりできるように努力してみましょう。
---------------------	--

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の基本的な考え方	習得すべき知識や概念等を理解している、それらを既存の知識及び技能と関連付けて活用したりする中で、概念等として理解したり、技能を習得したりしている。	知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けている。	知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたらすることに向けた粘り強い取組の中で、自らの学習を調整しようとしている。
習得したい技能（言語・思考）の明述	教養力：幅広い教養と課題発見・解決のための知識・技能	思考力：論理的に考え、批判的に振り返り、創造する力 表現力：思考・判断の結果や過程をわかりやすく伝える力	読解力：多様な他者とコミュニケーションをとり成果を上げる力 省察力：自らの行動を振り返り改善し次に活かす力
主な評価方法	①定期考査 ②小テスト ③授業・発表内容の観察 ④授業ノート・提出課題の点検	①定期考査 ②小テスト ③授業・発表内容の観察 ④授業ノート・提出課題の点検	①授業・発表態度の観察 ②プレゼンテーションの観察 ③提出課題の点検

学年	学習内容	学習の到達目標		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
通期	□助言 □後歩 □関係 □判断の根拠 □代替 □結果 □物事への正負の影響 □差異 □類似 □理由 □可能性 □情報の追加 □対照 □意見 □変化 □要約・結論 □目的 □例示 □情報源 □特徴	「助言 (Advice)」：助言を客観的に理解し、場面や状況、目的に応じて適切な文を組み立てる。 「譲歩 (Concession)」：譲歩を表す表現を理解し、場面や状況、目的に応じて適切な文を組み立てる。 「関係 (Relationships)」：物事の間接的な表現を理解し、場面や状況、目的に応じて適切な文を組み立てる。 「判断の根拠 (Bases of decisions)」：判断の根拠を表す表現を理解し、場面や状況、目的に応じて適切な文を組み立てる。 「代替 (Alternatives)」：代替を表す表現を理解し、場面や状況、目的に応じて適切な文を組み立てる。 「結果 (Result)」：結果を表す表現を理解し、場面や状況、目的に応じて適切な文を組み立てる。 「物事への正負の影響 (Positive and negative affects)」：物事への正負の影響を表す表現を理解し、場面や状況、目的に応じて適切な文を組み立てる。 「差異 (Differences)」：差異を表す表現を理解し、場面や状況、目的に応じて適切な文を組み立てる。 「類似 (Similarity)」：類似を表す表現を理解し、場面や状況、目的に応じて適切な文を組み立てる。 「理由 (Reasons)」：理由を表す表現を理解し、場面や状況、目的に応じて適切な文を組み立てる。 「可能性 (Probability)」：可能性を表す表現を理解し、場面や状況、目的に応じて適切な文を組み立てる。	学生の悩み解決：留学中の日本人学生から送られた相談メールを読んで、それぞれの悩みを解決する。 紙の辞書と電子辞書：書店で販売されている「紙の辞書」と「電子辞書」の説明を聞いて、それぞれの特徴や違いを理解する。 日本語学習方法の提案：日本人留学予定の学生が投稿したメッセージを読んで、提案できる日本語の学習方法を考える。 悩み相談コラム：相談コラムに寄せられた質問に関する悩みと返信の投稿を読んで、その悩みや助言を理解する。 決断：心理学の授業で、2つの異なる「決断スタイル」に関する記述を聞いて、それぞれの特徴や違いを理解する。 自分の性格：英語の授業の課題「知人について」、自分の性格を理解し、その性格が表れるエピソードなどの具体例を考える。 オンライン診療：留学中にインターネットで調べた病院のウェブサイトを見て、オンライン診療と対面診療の利点について考える。 健康的な生活スタイル：クラスメートのジェイクと知恵加との会話を聞いて、ジェイクの健康な生活へのアドバイスを考える。 心身の健康を維持する方法：健康を維持する方法について紹介する動画をSNSで投稿する動画の方法や自分の考え、具体例を考える。 海外活動の違い：日本とアメリカの海外活動の違いについて取り上げられる学生同士のメールを読んで、それぞれの海外活動の特徴や違いを理解する。	留学中の学生に悩みの解決策を助言するために、論理的な構成や展開を工夫して書いて伝える。 紙の辞書と「電子辞書」のどちらを使うのが良いかについて、自分の意見を論理的な構成や展開を工夫して話して伝える。 留学中の日本語学習方法に関する質問に返信するために、自分の考えを論理的な構成や展開を工夫して書いて伝える。 自分の性格について、子供の頃の性格と比較しながら、理由や具体例とともに、論理的な構成や展開を工夫して書いて伝える。 これまでに学んだ決断について、1つだけの決断したか、また決断の結果について、論理的な構成や展開を工夫して書いて伝える。 ハーレーがどんな性格なのかについて、理由や具体例を添えて、論理的な構成や展開を工夫して話して伝える。 オンライン診療と対面診療の利点について考え、ジェイクより良いと思うかについて、論理的な構成や展開を工夫して書いて伝える。 ジェイクのクラスメートとして、生活の問題点と改善策を添えて述べるため、論理的な構成や展開を工夫して話して伝える。 日常生活で感じるべき習慣について、自分の考えや理由や具体例とともに、論理的な構成や展開を工夫して話して伝える。 アメリカの海外活動と日本の海外活動の違いについて、自分の考えや理由や具体例を添えて、論理的な構成や展開を工夫して話して伝える。 日本人にとって、海外

	□情報の追加 (Further Information): 情報の追加を表す表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てる。 □対照 (Contrast): 対照を表す表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てる。 □意見 (Opinions): 意見を表す表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てる。 □変化 (Changes): 変化を表す表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てる。 □要約・結論 (Summary and Conclusion): 要約・結論を表す表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てる。 □目的 (Purposes): 目的を表す表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てる。 □例示 (Examples): 例示を表す表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てる。 □情報源 (Source of Information): 情報源を表す表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てる。 □義務 (Duty and Obligation): 義務を表す表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てる。	いを理解する。 異なるコミュニケーションスタイル: 3つのコミュニケーション文化 (高コンテクストと低コンテクスト) について話される講座を聞いて、それぞれの特徴や違いを理解する。 課外活動の選択: 消費の課外活動に参加することについて、賛成が反対かの意見を理由や根拠とともに考える。 SNSの好影響と悪影響: SNSのプラス面とマイナス面について話かれた記事を読んで、SNSが日常生活に与える影響について考える。 SNS上のトラブル: 学生に頻発する SNS 上のトラブルについて話される講義を聞いて、その問題点や予防のために必要なスキルを理解する。 SNSの問題点と予防法: 新聞記の活動で、SNSの使用についての記事を書くため、SNSで起こる害の例とそれの予防法について、自分の考えや体験談とともに話し合う。 終身雇用と転職: 終身雇用と転職の比較について、インタビューでやり取りされる生徒同士のやり取りを読んで、厚労や傾向を理解する。 職場の多様性: テレワークのジャーナリストが多様性の促進について話すのを聞いて、日本の職場で起こり得る多様性・現状を理解する。 会社情報: 人生設計について考えるグループワークプロジェクトで取り上げられた会社情報を読み取り、会社の名や製品を理解する。 キャッシュレス社会: 電子決済システムについて、受かるためのポイントカードの仕組みについて記事と投稿を読んで、その利点と欠点を理解する。 収入格差: 収入向上に役立つポイント・テクニック	テクノロジーのコミュニケーションが有益かどうかについて、自分の考えを理由や具体例などとともに、論理的な構成や展開を工夫して書いて伝える。 「学生の課外活動の可能性をすべきか」について、自分の考えを理由や具体例などとともに、論理的な構成や展開を工夫して話し合っていく。 SNS の使用のメリットとデメリットについて、自分の考えを理由や具体例などとともに、論理的な構成や展開を工夫して書いて伝える。 SNS の適切な使用を奨励するために、自分の考えを理由や具体例などとともに、論理的な構成や展開を工夫して話し合っていく。 SNS を使用する利点について、自分の意見を理由や具体例などとともに、論理的な構成や展開を工夫して話し合っていく。 日本の終身雇用・転職について、どちらの立場を支持するかを意見を理由や根拠、具体例などとともに、論理的な構成や展開を工夫して書いて伝える。 社会の多様性について、どのような場所で求められ、どのように促進するかという話を含めて、自分の考えを理由や根拠、具体例などとともに、論理的な構成や展開を工夫して書いて伝える。 会社情報から誰の取りたい会社の名前や状況から、自分の意見を理由や根拠、具体例などとともに、論理的な構成や展開を工夫して書いて伝える。 電子決済システムのメリットとデメリットについて、自分の考えを理由や根拠、具体例などとともに、論理的な構成や展開を工夫して話し合っていく。 毎月の節約のアイデア・解決策について、自分の考えを理由や根拠、具体例など
--	--	--	---

		スタートの会話を聞いて、その関係や解決策について考える。 地域活性化：自分の住む地域の活性化について、現状の現状や問題点、解決策などを考える。 近年の環境問題：地球温暖化の変化について書かれた記事を読んで、近年の現状や気付きをまとめる。 環境保護・環境保護：環境保護についての情報を得るため、プラスチックの袋に関するポスターやステッカーを聞いて、その影響を理解する。 環境問題：地理の授業で環境問題について学ぶため、その現状や問題点、社会や政府の取り組みを考える。 機械翻訳・機械翻訳：近年の進歩に関する記事を読んで、その特徴や利点の人間翻訳との比較において、その利点と欠点について考える。 農業における技術の変化：農業技術の変化に関するオンライン記事の読解を聞いて、技術の進歩やその利点と欠点、特に20年後の農業について考える。 AIと人間の仕事：AIは人間の仕事に取って代わり得るかについて、自分の意見を理由や具体例とともに考える。 SDGsの認識：SDGsの認識、取り組みについて、その重要性や達成の目標、成功や健全な表示をまとめることができることを考える。 教育の重要性：教育の重要性について、その現状や問題点、世界での教育の現状や改善点を考える。 SDGsの達成：SDGsの達成のために、その現状や問題点、取り組み、特に20年後の達成について考える。	とすると、論理的な構成や展開が上手に話して伝える。 自分が選んだ場所について、どのようにその現況を活性化できるかについて、自分の意見を理由や具体例や具体例などとともに、論理的な構成や展開を工夫して話して伝える。 地球温暖化を食い止めるために、国や地方レベルでできることについて、自分の考えを理由や具体例や具体例などとともに、論理的な構成や展開を工夫して話して伝える。 プラスチックごみから環境を守る方法について発表するため、現状や問題点、自分の考えを理由や具体例や具体例などとともに、論理的な構成や展開を工夫して話して伝える。 環境問題への取り組みについて発表するため、自分の意見を理由や具体例や具体例などとともに、論理的な構成や展開を工夫して話して伝える。 「機械翻訳は人間の翻訳者にとって替わらなければならない」というテーマについて、自分の考えを理由や具体例や具体例などとともに、論理的な構成や展開を工夫して話して伝える。 「20年後の農業がどのような未来になっているか」というテーマで発表をするため、農業における新しい技術の利点と欠点について、自分の考えを理由や具体例や具体例などとともに、論理的な構成や展開を工夫して話して伝える。 「AIは教師に取って代わり得るか」というテーマについて、自分の意見を理由や具体例や具体例などとともに、論理的な構成や展開を工夫して話して伝える。 「AIは教師に取って代わり得るか」というテーマについて、自分の意見を理由や具体例や具体例などとともに、論理的な構成や展開を工夫して話して伝える。
--	--	---	--

				世界の教育の現状を改善するためにできることについて議論するため、自分の意見を理由や根拠、具体例などとともに考え、論理的な構成や展開を工夫して話して伝え合おう。 SDGsの達成のために、クラスや学校でできることを話し合うため、その難点や対策方法について、自分の意見を理由や具体例やポイントとともに考え、論理的な構成や展開を工夫して話して伝え合おう。
備考				

令和6年度 岡山県立倉敷天城高等学校 普通科・理数科3年 シラバス

教科名	科目名（校内名称）	単位数	教 材
英語	論理表現Ⅲ （Ⅲ 論表Ⅲ）	2	教科書:Written Quest: English Logic and ExpressionⅢ [学研社] 別教材:Write to the Point [学研社16]

学習の ねらい	「論理・表現Ⅰ、Ⅱ」の学習内容を踏まえ、「話すこと（やり取り）」「話すこと（発表）」「書くこと」を中心とした統合的な言語活動を通して、発信能力を強化するための発展的な活動を行うとともに、論理の構成や展開を工夫して詳しく伝えたり、意見を合ったりすることができるようになる。 具体的な活動と領域は以下の通り、 (1) 話すこと[やり取り] 日常的・社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、文脈をほとんど活用しなくても、ディベートやディスカッションなどの活動を通して、複数の資料を活用しながら、多様な語句や文を用いて、意見や主張、課題の解決策などを論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝え合うことができるようにする。 (2) 話すこと[発表] 日常的・社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、文脈をほとんど活用しなくても、スピーチやプレゼンテーションなどの活動を通して、複数の資料を活用しながら、多様な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝えることができるようにする。 (3) 書くこと 日常的・社会的な話題について、複数の資料を活用して、段階的な手順を踏みながら、読み手を読み取ることができるように、意見や主張などを効果的な理由や根拠とともに、複数の段落を用いて書いて伝えることができるようにする。
------------	--

授業形式 アドバイス など	本コースの授業です。3年次の論理表現Ⅲの授業は、2年次で学習した内容さらに発展させたものです。2年次まで学習した内容（文法・構文など）で理解できていないところがあると論理表現Ⅲでは表現活動が限られると思います。授業も必ず必要です。日本語を母語としない表現を使って英語に表現する力をつけましょう。
---------------------	--

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の基本的な考え方	【知識】 英語の特徴やさすりに関する事項及びその働きや働きを理解している。 【技能】 目的や場面、状況に応じて、自分の意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して、詳しく話したり書いたりして伝え合うことができる能力を身に付けている。	目的や場面、状況に応じて、自分の意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して、詳しく話したり書いたりして伝え合っている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手・読み手など読者に配慮しながら、主体的・自発的に表現しようとしている。
1年次・1月1日 ～2月 との評価	読者の力：幅広い読者と読者の意見・解決のための知識・技能	思考力：論理的に考え、批判的に検討する力 表現力：思考・判断の結果や感情をわかりやすく伝える力	読者の力：多様な読者とコミュニケーションをとる力 読者の力：自分の行動を振り返り改善し前に踏み出す力

主な評価方法	○定期考査 ○小テスト ○授業・発表内容の観察 ○提出課題の点検	○定期考査 ○小テスト ○授業・発表内容の観察 ○提出課題の点検	○授業・発表態度の観察 ○プレゼンテーションの観察 ○提出課題の点検	学期	学習内容	学習の到達目標		
						知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	Lesson 1 学習／英語 Friendship and improvement	【読むこと】 ・学生の悩み解決：留学中の2人の日本人学生から送られた相談メールを読んで、それぞれの悩みを理解する。	【話すこと】 助言(Advice)：助言を与える表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てる。	【書くこと】 ・留学中の学生に悩みの解決策を助言するために、論理的な構成や展開を工夫して書いて伝える。				
	Lesson 2 学習／英語 Which is better: a paper or an electronic dictionary? (Write to the Point) L1	【聞くこと】 ・紙の辞書と電子辞書：書店で販売員が紙の辞書と電子辞書の説明を聞いて、それぞれの特徴や違いを理解する。 ・「少ない」「増えている」などの例文を読んで理解する。	譲歩(Concession)：譲歩する表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てる。 【書くこと】 ・正しい表現を使って日本語を英語に直すことができる。	初級のもたず学習者は「紙の辞書」と「電子辞書」のどちらを使うのが良いかについて、自分の意見を論理的な構成や展開を書く。 【書くこと】 ・ペア・グループで協力しながら正しい英文を書く。				
	Lesson 3 心理 Can you change your personality?	【読むこと】 ・悩み相談コラム：相談コラムに寄せられた性格に関する悩みと返信の投稿を読んで、その悩みと助言を理解する。	【話すこと】 ・関係(Relationships)：物事の間接を表す表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てる。	【書くこと】 ・自分の性格について、子供の頃の性格と比較しながら、理由や具体例とともに、論理的な構成や展開を工夫して書いて伝える。				
	Lesson 4 心理 How do we make decisions?	【聞くこと】 ・決断：心理学の授業で、2つの異なる「決断スタイル」に関する講義を聞いて、それぞれの特徴や違いを理解する。	・判断の根拠(Bases of decisions)：判断の根拠を表す表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てる。	・いかにして決断したか、また決断の結果について、論理的な構成や展開を工夫して書く。				
	(Write to the Point) L2	・一般論を述べるときの主語の決定について例文を読んで理解する。	【書くこと】 ・正しい表現を使って日本語を英語に直すことができる。	【書くこと】 ・ペア・グループで協力しながら正しい英文を書く。				
	Lesson 5 医療／健康 Online doctor consultation	【読むこと】 ・オンライン診療：留学中にインターネットで調べた病院のウェブサイトをみて、オンライン診療と対面診療の利点について考える。	【話すこと】 ・代替(Alternatives)：代替を表す表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てる。	【書くこと】 ・オンライン診療と対面診療の利点について、それぞれがより良いと思うかについて、論理的な構成や展開を工夫して書く。				
	Lesson 6 医療／健康 Healthy lifestyle (Write to the Point) L3	【聞くこと】 ・健康的な生活スタイル：クラスメートのジェイクと沙也加との会話を聞いて、ジェイクの状況や問題点を理解する。 ・「～するために」「～しないように」の表現を例文を読んで理解する。	・結果(Result)：結果を表す表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てる。 【書くこと】 ・正しい表現を使って日本語を英語に直すことができる。	シェイクのカツラムーヴメントで、生活の問題点と改善策を述べて助言するために、論理的な構成や展開を工夫して書く。 【書くこと】 ・ペア・グループで協力しながら正しい英文を書く。				

後期	Lesson 7 見出し What do you do after school?	・課外活動の違い：日本とアメリカの課外活動の形態について、やり取りされる学生同士のメール文を読んで、それぞれの課外活動の特徴や違いを理解する。	【書くこと】 ・物事の正負の影響 (Positive & negative affects)：物事の正負の影響に関する表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てる。	【書くこと】 ・アメリカの課外活動と日本の課外活動の形態のどちらが良いと思うかについて、自分の経験をもとに、自分の意見を理由や具体例などとともに、論理的な構成や展開を工夫して書いて伝える。
	Lesson 8 異文化 Direct and indirect ways of communication	【聞くこと】 なるコミュニケーションスタイル：2つのコミュニケーション文化（高コンテクストと低コンテクスト）について話される講義を聞いて、それぞれの特徴や違いを理解する。 ・「～のために」「～のおかげで」の表現を例文を読んで理解する。	【書くこと】 差異 (Differences)：差異を表す表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てる。	【書くこと】 日本人にとって、高コンテクストのコミュニケーションが有益かどうかについて、自分の考えを理由や具体例などとともに、論理的な構成や展開を工夫して書いて伝える。
	(Write to the Point) 1.4		【書くこと】 ・正しい表現を使って日本語を英語に直すことができる。	【書くこと】 ・ペア・グループで協力しながら正しい英文を書く。
	Lesson 9 情報化社会 Should we use social media?	【読むこと】 ・SNSの好影響と悪影響：SNSのプラス面とマイナス面について書かれた記事を読んで、SNSが日常生活に与える影響について考える。	【読むこと】 ・類似 (Similarity)：類似を表す表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てる。	【書くこと】 ・SNSの使用のメリットとデメリットについて、自分の考えを理由や具体例などとともに、論理的な構成や展開を工夫して書く。
	Lesson 10 情報化社会 Are you a good user of social media?	【聞くこと】 SNS上のトラブル：学生に頻発するSNS上のトラブルについて話される講義を聞いて、その問題点や予防のために必要なスキルを理解する。	【理由 (Reasons)】 ：理由を表す表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てる。	【書くこと】 ・SNSの適切な使用を奨励するために、自分の考えを理由や具体例などとともに、論理的な構成や展開を工夫して書いて伝える。
	(Write to the Point) 1.5	・時刻に注意して、例文を理解することができる。	【書くこと】 ・正しい表現を使って日本語を英語に直すことができる。	【書くこと】 ・ペア・グループで協力しながら正しい英文を書く。
	(Write to the Point) 1.6	・「be going to」と「will」の違いを例文を読んで理解する。	【書くこと】 ・正しい表現を使って日本語を英語に直すことができる。	【書くこと】 ・ペア・グループで協力しながら正しい英文を書く。
	(Write to the Point) 1.7	・動詞の語法について例文を読んで理解する。	【書くこと】 ・正しい表現を使って日本語を英語に直すことができる。	【書くこと】 ・ペア・グループで協力しながら正しい英文を書く。
備考				

令和6年度 岡山県立倉敷天城高等学校 普通科3年 シラバス

教科名	科目名（校内名称）	単位数	教 材
英語	ABLE A	1	Jet Reading 英語読解テスト Level 3（数研出版） Speaking Gym Standard（数研出版）

学習のねらい	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、以下のうちの領域において言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を養う。 ①外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付ける。外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解できるようにする。（知識・技能） ②場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりできるようにする。（思考力・判断力・表現力） ③外国語の背景にある文化に対して理解を深め、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりしようとしている。（主体性）
--------	---

授業形態 アドバイス など	普通科文系の選択科目です。予習を前提とせず、その場で辞書を使用せずに速読長文を初見読みし、寛容的な読解力を育成します。また、長文の主題に関して、ペアワークで意見交換をすることによって、表現力と発信力を高めますので、積極的に自分の考えを英語で話すようにして下さい。最終に、長文の主題に関する、パラグラフ・ライティングにも挑戦します。4技能をバランス良く伸ばしていきます。
---------------------	---

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の基本的な考え方	外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解している。	場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり、適切に伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対して理解を深め、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを言ったり、読んだり、話したり書いたりしようとしている。
見たい生徒像 (達成・能力) との関連	教養力：幅広い教養と課題発見・解決のための知識・技能	思考力：論理的に考え、批判的に振り返り、創造する力 表現力：思考・判断の結果や経験をわかりやすく伝える力	協働力：多様な他者とコミュニケーションをとり協力をする力 省察力：自分の行動を振り返り改善し前に踏み出す力
主な評価方法	○定期考査 ○課題考査 ○小テスト ○授業・発表内容の観察 ○授業ノート・提出課題の点検	○定期考査 ○課題考査 ○小テスト ○パフォーマンス・テスト ○授業・発表内容の観察 ○授業ノート・提出課題の点検	○授業・発表態度の観察 ○プレゼンテーションの観察 ○提出課題の点検

学期	学習内容	学習の到達目標		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	Activity 1 Lesson 1 (教育/エッセイ)	【聞くこと】 ・場面や状況に応じた表現を知っている。 ・「聞くこと」に用いられる語句や文法を知っている。	【聞くこと】 ・理解できないとき、聴き直したり、繰り返しや説明を求めたりしている。 ・日常的な話題についての英語を聞いて、情報や考えなど相手が伝えようとしていることを正確に理解することができる。	【聞くこと】 ・「聞くこと」の言語活動に積極的に、主体的に取り組んでいる。 ・相手を見て話を聞いたリ、必要に応じてメモを取るなど、相手の話に関心を持っている。
	Activity 2 Lesson 2 (歴史/説明文)	・日常的な話題について、英語の学習で取り扱われた文化について理解している。	・リズムやイントネーションなど基本的な英語の音声の特徴をとらえ、正しく聞き取ることができる。	・聞いたことについてジェスチャーや簡単なことばで応答したりしている。
	Activity 3 Lesson 3 (文化/説明文)	・ジェスチャーなど非言語的なコミュニケーション手段の役割や使い方を理解している。	・聞いた内容について正しく理解することができる。	・聞いた内容について意見や感想を述べようとしている。
	Challenge 1 Lesson 4 (仕事/メール)	・日常的な話題について、英語の学習で取り扱われた文化について理解している。	【読むこと】 ・理解できないところがあっても、推測するなどして読み続けている。	・さまざまな工夫をすることで、コミュニケーションを主体的に続けようとしている。
	Activity 4 Lesson 5 (歴史/説明文)	【読むこと】 ・読んだ内容について概要や要点を把握することができる。	・日常的な話題についての英語を正しく音読したり、暗唱したりすることができる。	・理解できないところがあっても、推測するなどして聞き続ける。
	Activity 5 Lesson 6 (科学/評論)	・文や文章を目的に応じた適切な速さで読み取ることができる。	・正しいリズムやイントネーションなどを用いて、音読したり暗唱したりすることができる。	【読むこと】 ・「読むこと」の言語活動に積極的に、主体的に取り組んでいる。
	Activity 6 Lesson 7 (社会/グラフ)	・言語や言葉の運用についての基本的な知識を身に付けている。	・日常的な話題についての英語で書かれた内容が表現されるように適切に音読したり暗唱したりすることができる。	・必要に応じてメモを取るなど、読んでいる内容に関心をもっている。
	Challenge 2 Lesson 8 (文化/物語)	・場面や状況による筋勢やイントネーションの違いを理解している。	【話すこと】 ・日常的な話題について英語で情報や考えなどを正しく話すことができる。	・読んだ内容について意見や感想を述べようとしている。
	Activity 7 Lesson 9 (読書/伝記)	・文字や符号を識別する知識を身に付けている。	・正しいリズムやイントネーションなどを用いて、話すことができる。	・必要に応じて辞書などを活用している。
	Activity 8 Lesson 10 (生活/広告)	・場面や状況に応じた表現を知っている。		・さまざまな工夫をすることで、コミュニケーションを主体的に続けようとしている。
		・文章の流れについての知識がある。		・音読や暗唱に積極的に取り組んでいる。
		・「読むこと」に用いられる語句や文法を知っている。		【話すこと】 ・「話すこと」の言語活動に積極的に、主体的に取り組んでいる。
		・日常的な話題について、英語の学習で取り扱われた文化について理解		

後期	Activity 9 Lesson 11 (文化/説明文) Challenge 3 Lesson 12 (科学/評論) Activity 10 Lesson 13 (生活/メール) Activity 11 Lesson 14 (社会/説明文) Activity 12 Lesson 15 (医療/説明文) Challenge 4 Lesson 16 (生活/ウェブ) Activity 3 Lesson 17 (社会/説明文) Activity 14 Lesson 18 (言語/評論) Activity 15 Lesson 19 (歴史/説明文) Lesson 20 (社会/説明文) Challenge 5 Lesson 21 (経済/説明文) Lesson 22 (歴史/説明文)	している。 ・日常的な話題について、英語の学習で取り扱われた文化について理解している。 【話すこと】 ・言語や言葉の運用についての基本的な知識を身に付けている。 ・場面や状況による強勢やイントネーションの違いを理解している。 ・場面や状況に応じた表現を知っている。 ・「話すこと」に用いられる語句や文法を知っている。 ・日常的な話題について、英語の学習で取り扱われた文化について理解している。 ・ジェスチャーなど非言語的手段の役割や用い方を理解している。 ・日常的な話題について、英語の学習で取り扱われた文化について理解している。 【書くこと】 ・「書くこと」の言語活動に積極的に、主体的に取り組んでいる。 ・間違えることを恐れず自分の考えなどを書いている。 ・自ら進んで書いたものを読み直し、意欲的に書き直したりしている。 ・自ら学んだ表現や進んで集めた情報などを使って書いている。 ・必要に応じて辞書などを活用している。 ・さまざまな工夫をすることで、コミュニケーションを主体的に続けようとしている。 ・よりうまく伝わるように、別の語句や表現で言い換えたり、説明して伝えるなどの工夫をしている。 ・表現できないところがあったとしても知っている語句や表現を用いて書き続けている。	・文法に従って正しく話すことができる。 ・伝えたい情報や考えなどを正確に話すことができる。 ・日常的な話題について、場面や目的に応じて、英語で適切に話すことができる。 ・伝えたい内容、場面、相手、目的などに応じて語句や表現を選択し適切に話すことができる。 ・相手の発話に対して適切に回答することができる。 ・場面や目的に応じて適切な速さや声の大きさで話すことができる。 ・相手の理解を確認しそれに応じて話すことができる。 【書くこと】 ・日常的な活動について、得た情報や自分の考えを英語で正しく書くことができる。 ・文法に従って正しく書くことができる。 ・伝えたい情報や考えなどを正確に書くことができる。 ・日常的な活動について、場面や目的に応じて、英語で適切に書くことができる。 ・内容を整理し、必要な分量を書くことができる。 ・伝えたい内容、場面、相手、目的などに応じて、語句や表現を選択し適切に書くことができる。 ・文のつながりや構成を考え、文章を書くことができる。	り組んでいる。 ・間違えることを恐れず自分の考えなどを話している。 ・自ら学んだ表現や進んで集めた情報などを使って話している。 ・関心をもって質問している。 ・ベン・ソークやグループ・ソークなどにおいて積極的に話し合ったり意見の交換をしている。 ・さまざまな工夫をすることで、コミュニケーションを主体的に続けようとしている。 ・よりうまく伝えないところがあったとしても、別の語句や表現で言い換えたり、説明して伝えるなどの工夫をしている。 ・つなぎ言葉を用いるなど、不自然な流暢さをせず話し続けている。 【書くこと】 「書くこと」の言語活動に積極的に、主体的に取り組んでいる。 ・間違えることを恐れず自分の考えなどを書いている。 ・自ら進んで書いたものを読み直し、意欲的に書き直したりしている。 ・自ら学んだ表現や進んで集めた情報などを使って書いている。 ・必要に応じて辞書などを活用している。 ・さまざまな工夫をすることで、コミュニケーションを主体的に続けようとしている。 ・よりうまく伝わるように、別の語句や表現で言い換えたり、説明して伝えるなどの工夫をしている。 ・表現できないところがあったとしても知っている語句や表現を用いて書き続けている。
備考				

令和6年度 岡山県立倉敷入城高等学校 普通科3年 シラバス

教科名	科目名（校内名称）	単位数	教 材
英語	スルーリーディングⅠ	1	Hyper-Listening Pre-Advanced (桐原書店) Reading Core for 英語テスト(啓隆社)

学習のねらい	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、以下の4つの領域において言語活動及びこれらをつなぎ付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を養う。 ①外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付ける。外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解できるようにする。（知識・技能） ②場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりできるようにする。（思考力・判断力・表現力） ③外国語の背景にある文化に対して理解を深め、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりしようとしている。（主体性）
--------	--

授業形態 アドバイス など	スルーリーディングの授業は、様々なテーマの英文を読んだり聞いたりし、その内容に関して、また、本文の表現を応用して、様々な表現活動を行います。授業中の活動に積極的に参加しましょう。
---------------------	---

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の基本的な考え方	外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解している。	場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり、適切に伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対して理解を深め、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを聞いたり、読んだり、話したり書いたりしようとしている。
育てたい資質 (資質・能力) との関連	教養力：幅広い教養と課題発見・解決のための知識・技能	思考力：論理的に考え、批判的に掘り下げ、創造する力 表現力：思考・判断の結果や経過をわかりやすく伝える力	進取力：多様な他者とコミュニケーションをとり協力をする力 省察力：自らの行動を振り返り改善し常に高めようとする力
主な評価方法	○定期考査 ○小テスト ○授業・発表内容の観察 ○授業ノート・提出課題の点検	○定期考査 ○小テスト ○授業・発表内容の観察 ○授業ノート・提出課題の点検	○授業・発表態度の観察 ○プレゼンテーションの観察 ○提出課題の点検

学期	学習内容	学習の到達目標		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	1 目的に合わせて必要な情報を読み取る	【聞くこと】 ・場面や状況に応じた表現を知っている。 ・「聞くこと」に用いられる語句や文法を知っている。	【聞くこと】 ・理解できないとき、確認したり、繰り返しや説明を求めたりしている。 ・日常的な話題についての英語を聞いて、情報や考えなど相手が伝えようとしていることを正確に理解することができる。 ・リズムやイントネーションなど基本的な英語の音の特徴をとりえ、正しく聞き取ることができる。	【聞くこと】 ・「聞くこと」の言語活動に積極的、主体的に取り組んでいる。 ・相手を見て話を聞いたり、必要に応じてメモを取るなど、相手の話に関心を持っている。 ・聞いたことについてジェスチャーや簡単なことばで回答したりしている。 ・聞いた内容について意見や感想を述べようとしている。
	2 情報を事実と意見に整理する	・日常的な話題について、英語の学習で取り扱われた文化について理解している。	・リズムやイントネーションなど基本的な英語の音の特徴をとりえ、正しく聞き取ることができる。	・さまざまな工夫をすることで、コミュニケーションを主体的に続けようとしている。
	3 目的に合わせて必要な情報を読み取る	・日常的な話題について、英語の学習で取り扱われた文化について理解している。	・聞いた内容について正しく理解することができる。	・理解できないところがあっても、推測するなどして聞き続ける。
	4 論理の構成、展開に配慮し文章を修正する	・日常的な話題について、英語の学習で取り扱われた文化について理解している。	【読むこと】 ・理解できないところがあっても、推測するなどして読み続けている。 ・日常的な話題についての英語を正しく音読したり暗唱したりすることができる。	【読むこと】 ・「読むこと」の言語活動に積極的、主体的に取り組んでいる。
	5 複数の資料を読み考察する	・ジェスチャーなど非言語的なコミュニケーション手段の役割や使い方を理解している。	・正しいリズムやイントネーションなどを用いて、音読したり暗唱したりすることができる。	・必要に応じてメモを取るなど、読んでいる内容に関心をもちている。
	6 資料を活用しアウトプットを創み立てる	・日常的な話題について、英語の学習で取り扱われた文化について理解している。	・日常的な話題についての英語を正しく音読したり暗唱したりすることができる。	・読んだ内容について意見や感想を述べようとしている。
	7 概要や要点をとらえる	・ジェスチャーなど非言語的なコミュニケーション手段の役割や使い方を理解している。	【話すこと】 ・日常的な話題について、英語で情報や考えなどを正しく話すことができる。	・必要に応じて辞書などを活用している。
	8 文章を要約する	・ジェスチャーなど非言語的なコミュニケーション手段の役割や使い方を理解している。	・正しいリズムやイントネーションなどを用いて、話すことができる。	・さまざまな工夫をすることで、コミュニケーションを主体的に続けようとしている。
	9 目的に合わせて必要な情報を読み取る	【読むこと】 ・読んだ内容について概要や要点を把握することができる。	・日常的な話題についての英語を正しく音読したり暗唱したりすることができる。	・音読や暗唱に積極的に取り組んでいる。
	10 情報を事実と意見に整理する	・文や文章を目的に応じた適切な速さで読み取ることができる。	・正しいリズムやイントネーションなどを用いて、音読したり暗唱したりすることができる。	【話すこと】 ・「話すこと」の言語活動に積極的、主体的に取り組んでいる。
後期	11 目的に合わせて必要な情報を読み取る	・文や文章を目的に応じた適切な速さで読み取ることができる。	・正しいリズムやイントネーションなどを用いて、音読したり暗唱したりすることができる。	・間違っていることを恐れず自分の考えなどを話している。
	12 情報を事実と意見に整理する	・文や文章を目的に応じた適切な速さで読み取ることができる。	・正しいリズムやイントネーションなどを用いて、音読したり暗唱したりすることができる。	・自ら学んだ表現や進んで
	13 読み取った内容を時系列に整理し、目的に合わせて必要な情報を読み取る	・文や文章を目的に応じた適切な速さで読み取ることができる。	・正しいリズムやイントネーションなどを用いて、音読したり暗唱したりすることができる。	
	14 論理の構成、展開に配慮し文章を修正する	・文や文章を目的に応じた適切な速さで読み取ることができる。	・正しいリズムやイントネーションなどを用いて、音読したり暗唱したりすることができる。	
	15 複数の資料を読み考察する	・文や文章を目的に応じた適切な速さで読み取ることができる。	・正しいリズムやイントネーションなどを用いて、音読したり暗唱したりすることができる。	

15資料を活用しアウトラインを 組み立てる 17概要や要点をとりえる 18文章を要約する 19・20速読を強く意識し目的 に合わせて必要な情報を正確 に読み取る	【話すこと】 ・言葉や言語の運用につ いての基本的な知識を 身に付けている。 ・場面や状況による発声 やイントネーションの違 いを理解している。 ・場面や状況に応じた表 現を知っている。 ・「話すこと」に用いられる 語句や文法を知ってい る。 ・日常的な話題について、 英語の学習で取り扱わ れた文化について理解 している。 ・ジェスチャーなど非言語 的コミュニケーション 手段の役割や用い方を 理解している。 ・日常的な話題について、 英語の学習で取り扱わ れた文化について理解 している。 【書くこと】 ・「書くこと」の言語活動に 積極的、主体的に取り 組んでいる。 ・間違えることを恐れず自分 の考えなどを書してい る。 ・自ら進んで書いたものを 読み直し、意欲的に書 き直したりしている。 ・自ら学んだ表現や語彙 で集めた情報などを使 って書いている。 ・必要に応じて辞書などを 活用している。 ・さまざまな工夫すること で、コミュニケーション を主体的に続けようと している。 ・よりうまく伝えるよう、 別の語句や表現で言い 換えたり、説明して伝え るなどの工夫をしてい る。 ・表現できないところがあ っても知っている語句や 表現を用いて書き続け ている。	場面や目的に応じて、 英語で適切に話すこと ができる。 ・伝えたい内容、場面、相 手、目的などに応じて 語句や表現を選択し 適切に話すことができ る。 ・相手の発話に対して適切 に反応することができ る。 ・場面や目的に応じて適切 な速さや声の大きさ で話すことができる。 ・相手の理解を確認しそ れに応じて話すことが できる。 【書くこと】 ・日常的な話題について、 得た情報や自分の考え を英語で正しく書くこ とができる。 ・文法に従って正しく書く ことができる。 ・伝えたい情報や考えなど を正確に書くことがで きる。 ・日常的な話題について、 場面や目的に応じて、 英語で適切に書くこと ができる。 ・内容を整理し、必要な分 量を書くことができる。 ・伝えたい内容、場面、相 手、目的などに応じ て、語句や表現を選択 し適切に書くことがで きる。 ・文のつながりや構成を 考えた文章を書くこと ができる。	集めた情報などを使っ て話している。 ・関心をもって質問してい る。 ・ペア・ワークやグルー プワークなどにおいて積極 的に話し合ったり意見 の交換をしている。 ・さまざまな工夫すること で、コミュニケーションを 主体的に続けようとして いる。 ・うまく書えないことがあ っても、別の語句や表現 で言い換えたり、説明し て伝えるなどの工夫をし ている。 ・つながりや構成を 考えた文章を書き続け ている。 【書くこと】 ・「書くこと」の言語活動に 積極的、主体的に取り 組んでいる。 ・間違えることを恐れず自分 の考えなどを書してい る。 ・自ら進んで書いたものを 読み直し、意欲的に書 き直したりしている。 ・自ら学んだ表現や語彙 で集めた情報などを使 って書いている。 ・必要に応じて辞書などを 活用している。 ・さまざまな工夫すること で、コミュニケーションを 主体的に続けようとして いる。 ・よりうまく伝えるように、 別の語句や表現で言い 換えたり、説明して伝え るなどの工夫をしてい る。 ・表現できないところがあ っても知っている語句や 表現を用いて書き続け ている。
備考			

令和6年度 岡山県立倉敷天城高等学校 普通科3年 シラバス

教科名	科目名（校内名称）	単位数	教 材
英語	英語表現スルーリーディングⅢ	Ⅰ	Hyper Listening Pre-Advanced（桐原書店） Smart Reader Standard（いっぎな書店）

学習の ねらい	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、以下のうちの領域において言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を養う。 ①外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付ける。外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解できるようにする。（知識・技能） ②場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりできるようにする。（思考力・判断力・表現力） ③外国語の背景にある文化に対して理解を深め、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりしようとしている。（主体性）
------------	---

授業形態 アドバイス など	英語表現スルーリーディングの授業は、様々なテーマの英文を読んだり聞いたりし、その内容に就いて、また、本文の表現を応用して、様々な表現活動を行います。授業中の活動に積極的に参加しましょう。
---------------------	--

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の基本的な考え方	外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解している。	場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり、適切に伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対して、理解を深め、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを聞いたり、読んだり、話したり書いたりしようとしている。
習得したい能力（知識・技能）との関連	教養力：幅広い教養と課題発見・解決のための知識・技能	思考力：論理的に考え、批判的に陥り下げ、創造する力 表現力：思考・判断の結果や経過をわかりやすく伝える力	協働力：多様な他者とコミュニケーションをとり協力する力 省察力：自らの行動を振り返り改善し前に踏み出す力
主な評価方法	○定期考査 ○小テスト ○授業・発表内容の観察 ○授業ノート・提出課題の点検	○定期考査 ○小テスト ○授業・発表内容の観察 ○授業ノート・提出課題の点検	○授業・発表態度の観察 ○プレゼンテーションの観察 ○提出課題の点検

予期	学習内容	学習の到達目標		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	1 主格の関係代名詞で名詞を修飾する	【聞くこと】 ・場面や状況に応じた表現を知っている。 ・「聞くこと」に用いられる語句や文法を知っている。 ・日常的な話題について、英語の学習で取り扱われた文化について理解している。 ・ジェスチャーなど非言語的なコミュニケーション手段の役割や使い方を理解している。 ・日常的な話題について、英語の学習で取り扱われた文化について理解している	【聞くこと】 ・理解できないとき、確認したり、繰り返しや説明を求めたりしている。 ・日常的な話題についての英語を聞いて、情報や考えなど相手が伝えようとしていることを正確に理解することができる。 ・リズムやイントネーションなど基本的な英語の音声の特徴をとらえ、正しく聞き取ることができる。 ・聞いた内容について「正しく理解することができる」。	【聞くこと】 ・「聞くこと」の言語活動に積極的、主体的に取り組んでいる。 ・相手を見て話を聞いたり、必要に応じてメモを取るなど、相手の話に関心を持っている。 ・聞いたことについてジェスチャーや簡単なことばで応答したりしている。 ・聞いた内容について意見や感想を述べようとしている。 ・さまざまな工夫をすることで、コミュニケーションを主体的に続けようとしている。 ・理解できないところがあっても、推測するなどして聞き続ける。
	2 目的格の関係代名詞で名詞を修飾する			
後期	3 所有格の関係代名詞で名詞を修飾する	【読むこと】 ・読んだ内容について概要や要点を把握することができる。 ・文や文章を目的に応じた適切な速さで読み取ることができる。 ・言語や音の運用についての基本的な知識を身に付けている。 ・場面や状況による強勢やイントネーションの違いを理解している。 ・文字や符号を識別する知識を身に付けている。 ・場面や状況に応じた表現を知っている。 ・文章の流れについての知識がある。 ・「読むこと」に用いられる語句や文法を知っている。 ・日常的な話題について、英語の学習で取り扱われた文化について理解している。 ・日常的な話題について、英語の学習で取り扱われた文化について理解している	【読むこと】 ・理解できないところがあっても、推測するなどして読み続けている。 ・日常的な話題についての英語を正しく音読したり暗唱したりすることができる。 ・正しいリズムやイントネーションを用いて、音読したり暗唱したりすることができる。 ・日常的な話題についての英語で書かれた内容が表現されるように適切に音読したり暗唱したりすることができる。 【話すこと】 ・日常的な話題について英語で情報や考えなどを正しく話すことができる。 ・文法に従って正しく話すことができる。 ・伝えたい情報や考えなどを正確に話すことができる。 ・日常的な話題について、	【読むこと】 ・「読むこと」の言語活動に積極的、主体的に取り組んでいる。 ・必要に応じてメモを取るなど、読んでいる内容に関心をもっている。 ・読んだ内容について意見や感想を述べようとしている。 ・必要に応じて辞書などを活用している。 ・さまざまな工夫をすることで、コミュニケーションを主体的に続けようとしている。 ・音読や暗唱に積極的に取り組んでいる。

別の 31 分詞を使って副詞的な意味を表す 32 with を使って付帯状況を表す 33 (動詞+名詞+不定詞)の語順を使う 34 (動詞+名詞+動詞の原形)の語順を使う 35 (動詞+名詞+補語)の語順を使う	【話すこと】 ・発話や言語の運用についての基本的な知識を身に付けている。 ・場面や状況による強勢やイントネーションの違いを理解している。 ・場面や状況に応じた表現を知っている。 ・「話すこと」に用いられる語句や文法を知っている。 ・日常的な話題について、英語の学習で取り扱われた文化について理解している。 ・ジェスチャーなど非言語的なコミュニケーション手段の役割や用い方を理解している。 ・日常的な話題について、英語の学習で取り扱われた文化について理解している。 【書くこと】 ・「書くこと」の言語活動に積極的、主体的に取り組んでいる。 ・間違えることを恐れず自分の考えなどを書いている。 ・自ら読んで書いたものを読み直し、意図的に書き直したりしている。 ・自ら学んだ表現や読んで集めた情報などを活用して書いている。 ・必要に応じて辞書などを活用している。 ・さまざまな工夫をすることや、コミュニケーションを主体的に続けようとしている。 ・よりうまく伝わるように、別の語句や表現で言い換えたり、説明して伝えるなどの工夫をしている。 ・表現できないところがあるかも知っている語句や表現を用いて書き続けている。	場面や目的に応じて、英語で適切に話すことができる。 ・伝えたい内容、場面、相手、目的などに応じて語句や表現を選択し適切に話すことができる。 ・相手の発話に対して適切に返答することができる。 ・場面や目的に応じて適切な速さや声の大きさで話すことができる。 ・相手の理解を確認しそれに応じて話すことができる。 【書くこと】 ・日常的な話題について、得た情報や自分の考えを英語で正しく書くことができる。 ・文法に従って正しく書くことができる。 ・伝えたい情報や考えなどを正確に書くことができる。 ・日常的な話題について、場面や目的に応じて、英語で適切に書くことができる。 ・内容を整理し、必要な分量を書くことができる。 ・伝えたい内容、場面、読み手、目的などに応じて、語句や表現を選択し適切に書くことができる。 ・文のつながりや構成を考えた文章を書くことができる。	集めた情報などを使って話している。 ・関心をもって質問している。 ・ペア・ワークやグループ・ワークなどにおいて積極的に話し合ったり意見の交換をしている。 ・さまざまな工夫をすることや、コミュニケーションを主体的に続けようとしている。 ・よりうまく伝わるように、別の語句や表現で言い換えたり、説明して伝えるなどの工夫をしている。 ・必要な言葉を用いるなど、不自然な表現をせず話している。 【書くこと】 ・「書くこと」の言語活動に積極的、主体的に取り組んでいる。 ・間違えることを恐れず自分の考えなどを書いている。 ・自ら読んで書いたものを読み直し、意図的に書き直したりしている。 ・自ら学んだ表現や読んで集めた情報などを活用して書いている。 ・必要に応じて辞書などを活用している。 ・さまざまな工夫をすることや、コミュニケーションを主体的に続けようとしている。 ・よりうまく伝わるように、別の語句や表現で言い換えたり、説明して伝えるなどの工夫をしている。 ・表現できないところがあるかも知っている語句や表現を用いて書き続けている。
備考			